



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

10月号

令和8年9月30日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



運動会を楽しむ四つのかかわり方

副校長 下倉 優

例年になく天候のすぐれない日が続き、子どもたちが青空の下で思い切り活動できる秋晴れの日々を待ち望むこの頃です。猛暑日が続くよりは過ごしやすいものの、運動会を控えたこの時期としては、天候の行方が気になる毎日でもあります。

さて、本校では10月24日（土）に第31回運動会を開催します。各学年では、子どもたちの思いや願いを生かしながら、練習や準備に取り組んでいます。体育科の学習では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指しています。その中で、運動やスポーツとの関わり方として「する」「みる」「支える」「知る」という四つの視点が示されています。

運動会も、この四つの視点から捉えることができます。まず、「する」です。自分の力を精いっぱい発揮して走ったり、音楽やリズムに合わせて踊ったりすることには大きな楽しさがあります。目標に向かって体を動かし、できなかったことができるようになる喜びや達成感を味わってほしいと思います。次に、「みる」です。友達や他学年の仲間のがんばる姿を見て、「走り方がカッコいいな」「表現が素敵だな」と感じることも、運動会の大切な学びです。友達のよさや努力に気付くことは、自分自身の成長にもつながります。三つ目は、「支える」です。友達に温かい声援を送ったり、大きな拍手で励ましたりすることも運動会をつくる大切な力です。また、高学年の子どもたちは係活動を通して運動会全体を支える役割を担います。自分たちの手で運動会を成功に導く経験は、大きな成長の機会となります。最後は、「知る」です。どうすればバトンを上手に渡せるかを考えたり、競技のルールや作戦を理解したりすることも運動の楽しさの一つです。「こうしたらうまくできる」「こうすればもっとよくなる」と考えながら取り組むことで、学びはより深まっていきます。

運動会は、決して走ることが得意な子だけのものではありません。「する」「みる」「支える」「知る」のどれか一つに夢中になり、全力で取り組むことができれば、その子にとって大変意義のある運動会になります。特に五、六年生は、「支える」役割に加え、自分なりの目標をもって運動会に関わることで、さらに大きな達成感を得られることでしょう。

今年の運動会も、子どもたち一人ひとりが自ら考え、目標に向かっていきいきと活動する姿を、ぜひご覧いただきたいと思います。温かい御声援をよろしくお願いいたします。

第2回 奈良中学校区 学校運営協議会の報告

9月10日（木）に、今年度2回目の奈良中ブロックの学校運営協議会を、恩田小学校にて開催いたしました。2校時に各クラスの授業参観をしていただいたあと、協議会では委員の皆様へ向けて、各学校のコミットメント宣言（教職員が学校を安全・安心な環境にするために進める取組）、「横浜子ども会議」の様子、各学校におけるいじめに対する取組について報告をいたしました。

コミットメント宣言については、各校から、「児童一人一人のよいところを見つけて大切にする」「教職員がチームとなり協力して児童支援にあたる」「教職員もふわふわ言葉を増やし、子どもたち一人一人を大切にする」といった取組の説明をしました。

横浜子ども会議については、今年度実施した活動内容や、参加した児童の様子について報告をしました。中学生在リーダーしながら、いじめの未然防止に向けて自分たちにできることはないか話し合う活発な姿が見られたとのことでした。

委員の皆様からは、あたたかい言葉がけなどを学校だけでなく家庭でも大切にしていきたいこと、モラルあるSNSの使い方を学校や家庭で指導していくことの必要性、少人数制指導など、子ども一人一人に目が届く学び方の工夫や児童生徒の居場所づくりについてお話をいただきました。今後もブロックで協力し、日々の教育活動を通して子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと思っています。

次回第3回の学校運営協議会は、11月11日（水）桂小学校での開催です。